

担当者不在でも検索OK

公文書を一元管理

松前町 来春導入へ研修開始

【松前】町は、公文書を一元管

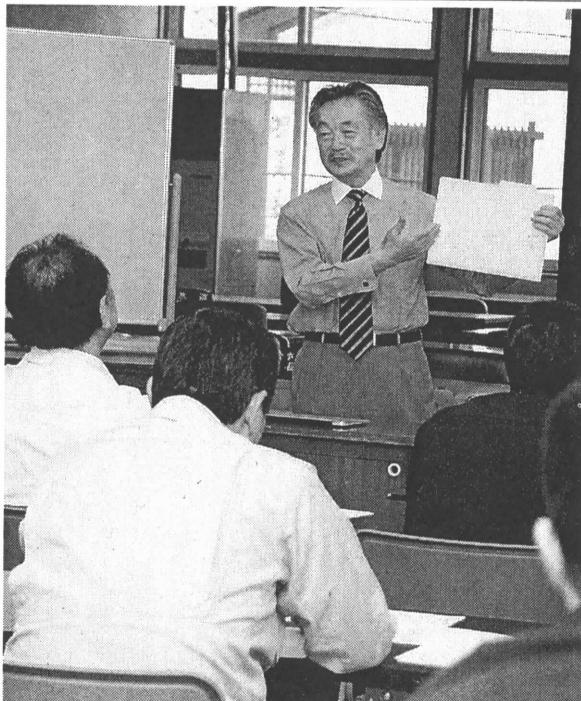
理し住民サービスの向上や情報公開などを進める「文書ファイリングシステム」導入へ向けて、作業を始めた。4月に施行された公文書管理法に呼応、道内で初めて同法に対応した規範を構築する。5月、前田一男町長が「導入宣言」を行い、全職員対象の研修がスタート。並行して文書の整理を進め、来年4月の運用開始を目指す。

(恵本俊文)

めた文書を課ごとに特定のキャビネットに収納する。一元管理することで、担当者が不在でも住民の求める文書を検索することができ、検索の迅速化によるほか、検索の迅速化により職員が仕事の効率化を図れる――などの利点がある。

5日の研修では、行

政文書管理改善機構
(東京)の広田伝一郎
理事長、佐々木信雄・
チーフ専門アドバイザ
ーが文書管理の問題点



フォルダを手にシステムを解説する広田伝一郎さん

このシステムでは、
保存文書を職員が個人
的に管理するのをや
め、紙のフォルダに收

ムの概要などを講義した。「システムは文書を取つておく道具ではなく、取り出すことで仕事を楽にする道具」などの説明に、職員は熱心に聞き入っている。

宮島武司・町総務課

長は「システムと町のホームページをリンクさせ、住民が必要とする文書をネット上で検索できるようにした」と話しており、町民と役場との情報共有が進みそうだ。